

㉑基本構想の記載（一部要約）		㉒これまでの意見の整理		㉓意見に対する現状の整理	
施設機能		事業の方向性のキーポイント	第8・9検討会での意見	現状できていること	現状できていないこと
①鑑賞	著名なアーティストの公演から文化団体の発表まで、様々な催しを柔軟に受入	「集客のしやすさ」と「収支の成立」のバランスが取れた大ホール規模	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益性など運営面での懸念が少ない事業の優先度が高いのでは</li> <li>・現・市民文化会館で行われている催事の継続</li> <li>・2,000席は周辺人口等から将来的に過剰となるおそれがあるのでは</li> <li>・コンベンションも2,000人規模が限界では</li> <li>・札幌の施設と公演の枠を取り合うのではなく、興行等において、札幌に加えてもう一箇所開催する際の選択肢といった位置付けの方が妥当では</li> <li>・「集客しやすい席数」であったとしても、そもそも収支が成立せず、使われない施設になってしまっは意味がないのでは</li> <li>・「興行として成立するかどうか」という視点は、重要な検討事項の一つ</li> <li>・kitoraやhitaruほど大きくはなく、一方であまり小さくすることも難しいのでは</li> <li>・旭川で開催できたら使い勝手が良い催しと、札幌で開催の方が合理的な催事の特徴について分析していった方が良いのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客人数が約1,500人以下の公演事業</li> <li>・一会場に集まる人数が約1,500人以下のコンベンション事業</li> <li>・部活動などの地区大会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客人数が約1,500人以上の公演事業</li> <li>・一会場に集まる人数が約1,500人以上のコンベンション事業</li> </ul> <p>【調査が必要な事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者が興行事業の収支を成立させる上で必要な座席数の確認</li> <li>・現・市民文化会館におけるホール稼働率の分析</li> <li>・現・市民文化会館で開催された催しにおいて、どのくらい席が埋まっているのか</li> <li>・周辺地域における施設の現状と今後の整備計画</li> <li>・周辺地域が旭川市に何を求めているか</li> </ul>
		需要に応じた施設機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現・市民文化会館で行われている催事の継続</li> <li>・複数のホールを整備する場合、それぞれの性格付けが大事になるのでは</li> <li>・音響など性能面についても、周辺地域が何を求めているか、という点も踏まえ検討できると良いのでは</li> <li>・専用設備は、整備や維持管理費の面で心配</li> <li>・過剰な設備にならないよう、これまでの実施状況など需要を踏まえ整備すべきでは</li> <li>・和室などは、単独での需要に加え、他事業と連携した使用なども想定しながら、今後検討していくべきでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽（クラシック、ジャズ、吹奏楽、合唱、ポップス等）</li> <li>・演劇、バレエ</li> <li>・伝統芸能（能、狂言、歌舞伎等）</li> <li>・講演会</li> <li>・展示（絵画・書・彫刻などの美術作品、コンベンションの企業展示等）</li> <li>・会議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オペラ（大ホールのオーケストラピット活用）</li> <li>・茶道（和室利用）</li> <li>… 炉を切る場所がなく、水屋が舞台の奥にあるなどの課題</li> <li>※ これまでに複数の団体から「茶道で利用しやすい形での和室整備」を求める要望書の提出あり（ホールを使った大人数向けの活動と合わせての利用希望）</li> </ul>
		市民が日常的に施設を訪れ気軽に文化芸術を鑑賞できる施設	性質の異なる催しや機能が共存可能な配置・動線	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お洒落をして参加するフォーマルな事業と、子どもや家族と気軽に施設を訪れる日常使いとの役割分担</li> <li>・偶然施設を訪れた人など、幅広く人に見てもらうためには、共用部での展示が有効なのは</li> <li>・ロビーが自由になんでもできるようなスタンスであってほしい。吹奏楽の演奏を気軽に開けるなど「発表の場」としてだけでなく、日常的な「練習の場」としても活用できると良い</li> <li>・ロビーコンサート等の音を出す活動は、施設内で行われている他の活動を阻害しないよう、時間を区切るなどマネジメントの工夫が必要では</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子向けの公演事業（演劇、コンサート等）</li> <li>・クラシックコンサートやバレエ等の公演事業</li> <li>・自習等での共用部の活用（照度に不足あり）</li> </ul>
②活動	創作意欲をかき立て、市民の主体的な活動を後押しする場所と設備	施設の中核を成す「発表の場」の規模の選択肢	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な規模の「発表の場」が、多様な活動を生むきっかけになるのでは</li> <li>・道北における「文化交流活動の拠点」として、大ホールは1,500～2,000席を階層式にし、利用パターンによって多様な規模の事業に対応できると良い</li> <li>・公会堂機能を継承する500～800席の中ホール</li> <li>・～100席や150～200席程度の規模で、ステージや座席が可変式の平土間空間であれば、小規模な活動で使い勝手が良いのでは</li> <li>・現施設の稼働率や、実際にどれだけ人が入っているかといった実績を基に考えるべきでは</li> <li>・展示室の活用もマストだと思う。現在も様々な活動の発表が行われている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客人数が約1,500人以下の発表活動（大ホール）</li> <li>・集客人数が約700人以下の発表活動（公会堂）</li> <li>・集客人数が約300人以下の発表活動（小ホール）</li> <li>・約200㎡・約400㎡・約600㎡規模の展示活動（展示室）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客人数が100人程度の発表活動に適した規模感の場</li> <li>・照明・音響などの技術スタッフがおらずとも行える、気軽な発表活動に適した場</li> <li>・展示室を区分して使用する際、各区画で同時に異なる催事を開催</li> </ul> <p>【調査が必要な事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現・市民文化会館及び公会堂におけるホール稼働率の分析</li> <li>・現・市民文化会館及び公会堂で開催された催しにおいて、どのくらい席が埋まっているのか</li> </ul>
	誰もが思い思いに自由な活動を展開し、自分の居場所と感じられる施設	多様な規模・種類の活動への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・練習活動の場よりも、発表の場の整備を優先すべきでは</li> <li>・将来的な活動人口も考えると、特定用途に特化するのではなく、多目的に使える諸室でなければ、稼働率が低くなるのでは</li> <li>・用途については、防音機能の有無で区分している事例もある</li> <li>・可動間仕切りで分割可能な部屋にすれば、様々なキャパシティにも対応できるだろうが、同時に複数の活動で使用する場合、互いの音が活動を阻害するおそれがある</li> <li>… 同時間帯に音が出る活動を同居させたいかどうかで整備の仕方が変わってくる</li> <li>・利用実態を踏まえた室数と仕様設定が必要では</li> <li>・他施設等で行われている活動の把握と住み分けが必要では</li> <li>・公会堂以外にも、老朽化が進む既存施設が担っている活動を継承・集約化していくという視点も重要では</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・約200人以下の人数で練習に使える防音室（大会議室）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音や振動の出る小規模の練習活動に使用可能な部屋</li> </ul> <p>【調査が必要な事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現・市民文化会館における稼働率の把握</li> </ul>
③交流	従来文化芸術の枠にとらわれず文化を広く捉える意識を醸成し、交流人口の増加やまちの活性化に資する施設	コンベンションを含む幅広い交流活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な「活動」が行われることで「交流」「発信」につながっていくのでは</li> <li>・芸術作品以外にも、地元企業の製品や特産品、旭川の地域紹介などの展示もできれば、コンベンションや若者の地元就職促進など、地域の魅力のPRにもつながるのでは</li> <li>・市内外の様々な場所で行われている様々な活動と連携し、「道北のランドマーク」として、周辺自治体も含めた交流のシンボルになると良い</li> <li>・文化芸術に関係する人に限らず、市外の人なども幅広く受け入れ、交流することを想定できる施設になれば、基本構想の「まちづくり」機能を果たし得ると思う</li> <li>・情報の集約・発信拠点機能が交流拠点機能につながるのでは</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議</li> <li>・講演会</li> <li>・コンベンション事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術以外の分野の展示活動等</li> <li>・交流する仕組みの創出… 発信機能との組合せ</li> <li>・市民だけでなく、周辺自治体の住民の利用と交流を促す仕組み</li> <li>・情報の集約・発信拠点としての機能</li> </ul>
	誰もがふらっと立ち寄れる親しみやすいスペースを設け、人々の交流を促す	様々な属性の人が同居し、交流できる空間づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生が集まって自習活動等に使用できる、開かれた空間</li> <li>・ロビーが自由になんでもできるようなスタンスであってほしい。吹奏楽の演奏を気軽に開けるなど「発表の場」としてだけでなく、日常的な「練習の場」としても活用できると良い</li> <li>・ロビーコンサート等の音を出す活動は、施設内で行われている他の活動を阻害しないよう、時間を区切るなどマネジメントの工夫が必要では</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自習等での共用部の活用（照度に不足あり）</li> <li>・一時的な滞在（目的なく訪れるような空間ではない）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共用部を使った展示活動・発表活動（ロビーコンサート等）</li> <li>・居心地よく滞在できる空間</li> <li>・目的がなくとも訪れ、滞在や交流を通して文化芸術への関心を惹起するきっかけとなる場</li> </ul>
④発信	文化交流活動に関する知識や経験を伝えるための発信拠点	情報の集約と拡散、相談の窓口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の文化芸術に関する情報が集約される場が必要であると思う</li> <li>・公演の情報を集約・拡散するハブ機能を持てると良い</li> <li>… 交流拠点としての機能にもつながるのでは</li> <li>・事務局がインフォメーションコーナー機能を兼ね、公演のチケットも取り扱えると良い</li> <li>・文化芸術に関する活動を始めたい市民が、気軽に相談に行ける窓口になると良い</li> <li>・目が届きやすい場所で、気付きやすく、フラットに入れる相談窓口</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシの配架・ポスターの掲示</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内の文化芸術情報の一元的集約・紹介・他施設との共有（ハブ機能）</li> <li>・相談しやすいハード面の配置</li> <li>・文化芸術活動を始めたい人の相談窓口機能</li> </ul>
	利用機会の少ない市民に向けたアウトリーチにより、誰もが文化芸術に参加でき、新たな発見や出会いが生まれやすくなることを目指す	利用機会が少ない人へ向けた発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の用事の「ついで」に施設を訪れるなど、流れの中で目に入るきっかけが必要では</li> <li>・文化芸術のインフォメーションセンターとして、観光案内所と連携できると良い</li> <li>・例えば子どもの居場所としての機能を持つことで、日常生活の中に施設を訪れることが組み込まれるといった可能性もある</li> </ul>	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光情報センター等との連携</li> <li>・キッズスペース</li> <li>・子どもの居場所（親の送迎を待てる場所）</li> </ul>